

刈谷音楽協会 定期情報誌 第7号

2008.4.20 発行



第2回刈谷音楽協会演奏会

ご挨拶

昨年の12月に、第2回刈谷音楽協会演奏会を開催しました。新人3人の方が、ピアノ、ヴァイオリン、シンセサイザーという多彩な楽器で若々しい演奏を聴かせてくださいました。また、第2部では、バッハの半生を楽しいお話を交えて披露することができました。バッハの生きた時代、そして彼の音楽が当時どのように受け入れられていたのか、など、物語の台本から選曲まで、会員の皆さんが本当にご苦労されて創り上げてくださいました。また、演奏にも多くの会員に出演していただくことができました。

このほか、刈谷市が駅前に建設中の新市民ホールオープニングコンサートに、刈谷市と共に市民劇を公演することが決まりました。現在、実行委員会が組織され、今後の進め方などを話し合っています。この市民劇は、多くの市民に参加していただくとても大きな催しとなります。是非期待していただくとともに、会員の皆様にも積極的に参加していただけますよう、よろしく願いいたします。

2008.4.20

刈谷音楽協会理事長
近藤富士雄

第2回刈谷音楽協会演奏会 (2007.12.2 産業振興センター)

刈谷音楽協会演奏会は、第1部を新人演奏会、第2部を企画演出の部と位置づけ多くの会員が出演してのコンサートになっています。



今回は、新人の佐々木陽子さんのピアノ演奏でラフマニノフの作品や、山本幸代さんのヴァイオリン演奏でフランクのソナタなどを披露してもらいました。第2部では、前年の第1回で好評だったモーツァルト物語に引き続き、バッハの半生を彼の作品とともに紹介するバッハ物語を披露しました。



バッハに扮したのは副理事長の鈴木裕康さんで、教会の雰囲気演出しながらカンタータやコラールなどを披露しました。

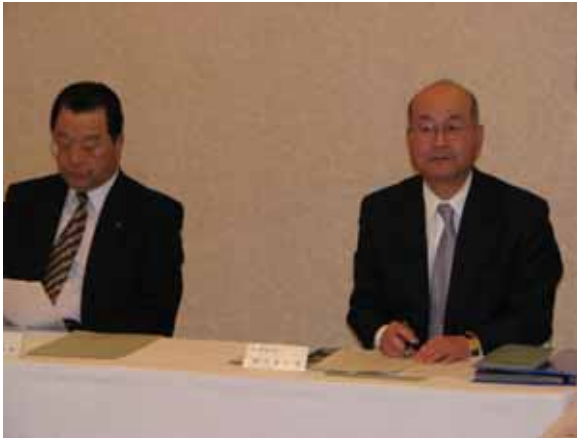
その他、無伴奏チェロ組曲やG線上のアリアといった有名な曲のほか、コーヒーカンタータという珍しい曲も演奏しました。

事業経過報告会 (2008.2.4 刈谷プラザホテル)



音楽協会の活動を顧問である刈谷市長や県議会議員の皆様へ報告する、事業経過報告会を開きました。この会の開催は今回で3回目となります。

所用で欠席された竹中市長に代わり、岡田副市長が出席されました。また、住田県議や神谷刈谷文化協会会長、デンソー総務部山中部長など、大勢の方へ出席いただきました。



協会からは一年を通してどんな活動を行なったかをご説明し、出席された皆さんからは、積極的に活動を進めている協会の実績に評価をしていただきました。



岡田副市長からは、「この地域は入場料が高いとお客さんがなかなか集まらない。

反面、安いコンサートには大勢の人が訪れる。音楽協会が地道な活動を続け、この地域の音楽熱を高めて欲しい」とご意見を頂きました。

また住田県議からは、協会が建設中の新市民ホールに対して要望書を提出していることを受け、「市の反応はどうだったか。取り入れてもらえているか？」と心配して頂きました。



これに対し、文化振興課の本間課長からは「文化振興基本計画の重点施策に”音楽のある町づくり”を挙げている。新市民ホールは市民に親しまれ賑わう場所としたいと考えているので、音楽協会には市民ホールを拠点として音楽活動を発信してもらいたい」と期待を込めたコメントを頂きました。

報告会の後には、恒例の懇親会も開かれ、協会理事との自由な意見交換が行なわれました。



会員の活動

刈谷市民管弦楽団第21回定期演奏会(2008.1.20)



刈谷市民管弦楽団の第21回定期演奏会が知立市のパティオ池鯉鮒で開かれました。今回はプログラムに、ドラマ「のだめカンタービレ」のオープニング曲に使われた、「ベト7」ことベートー

ベン作曲の交響曲第7番が盛り込まれました。その影響が現れたのか、会場はほぼ満席の盛況ぶりで、若者から年配の方までいつも以上に幅広い年齢層の方が聴きに来ていました。

客演指揮者は、セントラル愛知交響楽団のオーボエ奏者でもある さんで、日頃から団員のトレーナーとして指導しているとあって、息の合った安定した演奏を聴かせていました。



ピアニスト河合優子さんによるホームコンサート(2008.1.14)



常務理事加藤美代子さんの自宅にて、河合優子さんのピアノ・コンサートが開かれました。河合さんはポーランド在住でショパンのスペシャリストとして国際的に活躍されています。ショパン全曲演奏の第4弾として開催されました。

ショパン全曲演奏会 NO.4

加藤農園にて柿の木コンサートの模様(2007.11.3)



刈谷北部、柿ノ木オーナー園にて毎年収穫時に行っている子供達のミニコンサート。青空の下で思い切り演奏でき、トン汁のサービスもあって、子供たちは1日中楽しそうでした。

第14回子どものためのクラシックコンサート

(2007.12.15 リリオコンサートホール)



子供たちにクラシック音楽を聴いてほしいと20年ほど前から開いているコンサート。子供たちに親しみのある曲を歌、ピアノソロ、連弾演奏、2台の演奏など。

会員の愛教大教授・隈本浩明さん、加藤美代子さん、内藤恵美さんらが出演しました。

告知とボランティア募集

2008 6/1 開場 13:30 開演 14:00
会場 刈谷市民会館 アイリスホール

第4回刈谷音楽祭

演奏 ヴィヴァルディ「四季」全曲
東京フィルハーモニー交響楽団メンバー
ヴァイオリン・ソロ：近藤 薫 (Konomi)

室内楽による
イタリア音楽の旅

イタリア民謡
ブッチーニメドレー
イタリア映画音楽ほか
演者：刈谷音楽協会メンバー

入場料 一般800円 高校生500円 小中学生無料

刈谷音楽協会の自主事業である第4回刈谷音楽祭を6月1日に市民会館アイリスホールで開催します。

今回は室内楽をテーマに、イタリア音楽を特集します。中でも、東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーによるヴィヴァルディの「四季」は、ヴァイオリン・ソロを刈谷市出身の近藤薫さんが務める等、話題性の高いものになっています。是非会場に足を運んでくださいますようお願いいたします。

また、当日の運営をお手伝いくださるボランティアも募集しています。会員の皆様の中で協力いただける場合は、事務局までご連絡ください。